

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課（☎65-6504）までお知らせください。

長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちよびっく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゅーす

3月18日(日) 地元の魅力を楽しめる道の駅イベント

道の駅あちかまの里で、「道の駅まつり」が開催されました。地元産コシヒカリを使ったポン菓子や、カモ肉と地元野菜を使った千人鍋の振舞いなど、地元の素材を活かしたグルメが味わえ、朝から多くの人で賑わいました。野外ステージでは、高島高校吹奏学部や地元の中高生バンドによる演奏のほか、長浜市出身のシンガーソングライター小林未奈さんらが出演し、会場を大いに盛り上げました。



3月19日(月) プルタブ収集活動で車いす寄附

パナソニック松愛会が長浜市へ車いす1台を寄贈し、市役所で贈呈式が開かれました。同会は、パナソニックの退職者が中心の会で、社会貢献活動の一環としてプルタブを集めて車いすを贈る活動に取り組んでいます。松愛会滋賀支部の松崎大次郎支部長から目録が手渡され、市長は「ありがとうございます。大切につかわせていただきます」と感謝の言葉を述べました。

3月25日(日) 長浜初！長浜発！子育て世代向けイベント

今回が初開催となる「ながはままるごと子育て応援フェスタ」が浅井文化ホールで開催されました。春らしく気持ちいい天気の中、およそ3,000人の親子連れが訪れたこのイベント。長浜バイオ大学や滋賀文教短期大学が劇やマジックなどを披露し会場を盛り上げたほか、授乳・離乳、子どもの接し方など子育てのための講座も開かれ、有意義な1日となりました。

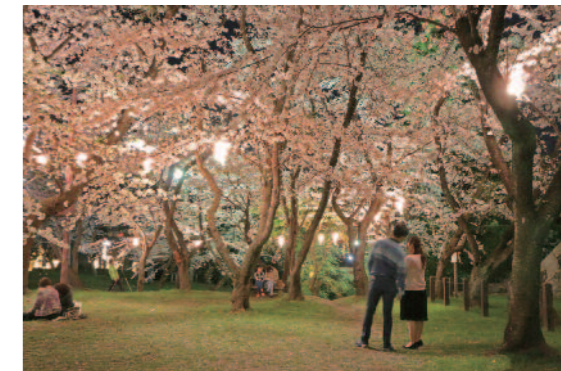


3月25日(日) 奥びわ湖パークウェイを魅力あるスポットに

地域を元気にするために西浅井地域の有志が「びわ湖のてっぺんプロジェクト」を立ち上げ、そのキックオフイベントが奥びわ湖パークウェイで行われました。大勢の人が訪れ、桜の植樹や清掃、柵のペンキ塗りを行い、桜の名所であるパークウェイをさらにきれいにしました。この日は春の陽気に恵まれて、子どもたちも額に汗をにじませながら一生懸命作業を行いました。

3月31日(土)～4月9日(月) 夜空に浮かぶ鮮やかな桜

豊公園で夜桜観賞用のぼんぼりが点灯され、期間中多くの花見客で賑わいました。豊公園には約600本の桜の木が植えられており、毎年満開になると公園一帯が淡いピンク色に染まります。今年は暖かい日が多く、例年に比べ早めの開花。ライトアップされ白く浮かぶ長浜城とぼんぼりに照らされる桜の幻想的な光景が広がりました。



4月1日(日) 子どもたちの門出を祝う春まつり

高月町渡岸寺の向源寺境内で、「観音の里春まつり」が開催されました。この催しは、今年小学校に入学する新一年生の学業成就を願い行われています。メインとなる福餅まきでは、市全域から110人の新一年生が参加し、やぐらの上から元気にお餅をまいていました。春らしい陽気で桜もほぼ満開。子どもたちの新しい門出を祝う素晴らしい日になりました。

4月3日(火) 入社を記念して寄贈

4月3日(火)に大塚産業グループの新入社員9人が市役所を訪れ、図書館資料(10万円相当)を寄贈しました。大塚産業グループは長浜図書館の開館した昭和58年から毎年、新入社員の入社を記念して図書を寄贈しており、今年で35回目。新入社員を代表して丸山光莉さんから目録が手渡されました。市長は「市民に大いに利用してもらいます」と感謝の言葉を述べました。



4月9日(月) 新たな学校生活の幕があがりました

県内初となる施設一体型義務教育学校となる余呉小中学校で開校式が行われ、板山教育長から築田校長に校旗が手渡されました。児童生徒代表の浅井美桜さんが「新たな学校生活に不安もあるけど、それ以上にわくわくしています」と述べ、その後2～9年生の児童生徒で校歌を斉唱し、余呉小中学校の開校を祝いました。